

ぼくを変えたきららの里

一宮南部小・5 山口 秀明

ぼくは、人前に立つことが苦手だ
クラスみんなの前でも
仲良しの友達の前でも

ぼくは人の前に立つことが苦手だ
算数の問題で答えがわかっても
手を上げないときがある
なぜなら
もしもまちがえたらということが
こわいから

ぼくは人の前に立つことが苦手だ
抱負発表などの
全校生徒の前にして
話すことなんて
ぼくにはできない

ぼくは、人の前に立つことが苦手だ
この気持ちが
残ったまま

野外活動が始まった
きららの里に着いた
その日の夜に

キャンプファイヤーを行った
みんな自分たちのはんの
スタンツをやった
みんなのスタンツが
終わって

自分たちの番がやってきた
はずかしくて
おどるのがいやだった
だけど一度きりの野外活動
思い切っておどってみた
思ったより楽しかった

ぼくは人の前に立つことが苦手だ
ぼく一人ではできなかった
仲間がいたから変わった
ダンスの後

自分でも不思議なくらい
気分がすがすがしい
こんな気持ちは初めてだ
「もっとやりたい」
そんな自分になっていた

ぼくは人の前に立つことが気持ちいい
人を前にしておどることができた
ぼくの気持ちが

ぼくの体の中で
何かが変わった

ぼくは人の前に立つことが楽しい
そんな気持ちにさせてくれた
仲間ときららの里に感しゃ
ありがとう友達
ありがとうきららの里